

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 1 月 10 日

事業所名:スマイルキッズステーション きらきら 保護者等数(児童数)26名 回収数 23 割合 88 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	0	0	3	あまりスペースを見たことがないので	子どもが活動しやすい環境を整えていく。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	2	0	4	あまりスペースを見たことがないので	活動の振り返りを行い、改善していく。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	1	0	3	ご意見なし	バリアフリーで環境整備に努めている。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	20	3	0	0	ご意見なし	職員間で情報交換・共有を行い計画している。保護者に丁寧な説明を行っている。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	22	1	0	0	ご意見なし	制作、運動遊び、課外活動など色々な経験を積めるように計画している。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15	1	1	6	近くの学童との交流機会を作って欲しい。	コロナ感染予防をしながら、可能な限り検討していく。
保護者 への説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	0	0	0	ご意見なし	契約時や必要に応じて説明を行う。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	0	0	0	ご意見なし	送迎時や面談、電話などで保護者の方のご意見を伺っている。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	0	0	0	ご意見なし	引き続き、連絡帳、面談、電話での支援をしていく。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	5	3	9	きらきらでもあれば参加したい。	コロナがあり実施できていない状況。検討していく。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	1	0	6	ご意見なし	契約時に苦情窓口の案内を説明している。苦情があった場合は、職員で共有し改善をしていく。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	0	0	3	ご意見なし	連絡帳、電話連絡、面談などにて意思疎通を図っていく。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	1	0	0	ご意見なし	毎月のおたより、その都度活動のお知らせを配布している。ホームページもさらに活用していきたい。
	14	個人情報に十分注意しているか	20	0	0	3	ご意見なし	個人情報の漏洩、保護に努め職員へ指導を行う。
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	0	0	6	ご意見なし	契約時に説明を行っている。職員での勉強会を開きマニュアル確認・周知を行っている。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	2	0	7	ご意見なし	設備点検を行い、内部研修で訓練を行っている。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	22	1	0	0	ご意見なし	成長に合わせて様々な経験ができるように立案していく。
	18	事業所の支援に満足しているか	23	0	0	0	ご意見なし	適切な支援を行い、保護者や関係者とも連携を図っていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。